

弥富市小中学校未来構想



中学校再編委員会だより

第9号 発行日 令和6年12月9日

弥富市中学校再編委員会・弥富市教育委員会



「シン弥富中」をみんなで創ろう！



～生徒間交流活動の紹介～

1年生「これから Zoo っと友達！交流会」（東山動植物園）

10月29日(火)、子どもたち同士が関わり合い、楽しみながら交流できる『Zoo Mission』を行いました。グループ一人一人が力を合わせて取り組む「グループミッション」、動物園を隅から隅まで見て、動物に関わるクイズをグループで協力する「アニマルミッション」、中学校の先生作成のクイズをグループで話し合いながら解く「スペシャルミッション」の3つです。

最初は「不安」な気持ちを抱いていましたが、「一人一人がみんなのことを考えていて、弥富中生はやさしいと思った」「知らない人に囲まれて、不安いっぱいだったはず」と、十四山中の生徒の気持ちもよく考えており、「みんな仲良く過ごし、思いやりの気持ちをもっているのが伝わってきた。来年が楽しみ」と、多数の『Zoo Mission』を活動する中で、子どもたち同士が関わり合い、たくさんの笑顔が見られ、絆を深める素敵な交流イベントになりました。



グループミッション
(じゃんけんミッション)



スペシャルミッション
(グループで謎解き)



グループミッション

(人間知恵の輪)



グループミッション

(スマイルミッション)

<生徒の感想>

バス内ではあまりコミュニケーションがとれませんでした。話に入ろうとしてもこわくてできませんでした。園内では、班のみんなと協力して楽しくミッションを次々とできたのでよかったです。一人一人がみんなのことを考えていて、とてもやさしいと思いました。みんなが見たい動物を見れて、ミッションも全部うめれたのでよかったです。最後も「バイバイ！」と言ってくれたので、とてもうれしかったです。

知らない人に囲まれて不安でいっぱいだったはずだけど、22日も29日も積極的に班になじもうとする姿勢がすてきだと思いました。動物園を回っているときに、他の班にいる十四山中の子に会ったら「大丈夫？話せてる？」のような声が聞こえてきました。十四山中のみんなが仲良く過ごし、思いやりの気持ちをもっているのがとても伝わってきて、来年がとっても楽しみになりました。

2年生 広島研修「被爆ピアノの伴奏による合唱交流」～心を合わせて～

11月6日(水)、広島県国立江田島青少年交流の家で、『被爆ピアノによる合唱交流』を行いました。指揮者は弥富中、伴奏者は十四山中生徒で、息の合った見事なコラボレーションでした。被爆ピアノに魂を吹き込む、被爆ピアノの所有者の「矢川ピアノ工房」の皆様からも、「すばらしい歌声でした」と大きな拍手をいただきました。



被爆ピアノによる合唱交流
※ 江田島青少年交流の家

<生徒の感想>

十四山中学校の皆さんとの歌と、被爆ピアノの音が心に残りました。理由は、十四山中学校の皆さんと平和のために大きな声で歌ったからです。

最初に、被爆ピアノの音を聞いたとき、想像以上に力強く大きかったので、驚いた。みんなで合唱をした時も、CDで練習していた時より迫力がすごくて、自然にもっと声を出そうという気持ちになった。

いつもと違い弥富中学校のみなさんとの合唱だったので、ピアノの伴奏を上手に仕上げようという意識をしました。被爆ピアノを通して戦争や原爆の怖さを感じるとともに、平和への想いも高まりました。

特別支援学級「みんなまーるく弥十交流会」～ばんざい！おもパーティー～

11月19日(火)、「ばんざい！おもパーティー」と題して、第2回交流会が行われました。会の手作りの次第は弥富中の生徒がつくり、会の前に和やかに両校生徒が次第について和やかに会話する場面が見られました。鬼まんじゅうづくりを通して、生徒同士はもちろんのこと、生徒と両校の先生同士の交流もあり、みんなでひとつのものを協力して作りあげるよさを子どもたちは感じていました。そして、一つ一つの工程を達成できたら「やった!」「私にもできた!」とガッツポーズをして自信をつけて喜ぶ生徒もおり、そんな素敵な姿を生徒同士でも共有できる機会となりました。蒸している時間に、「食欲の秋でしょ!ビンゴ」を行い、みんなで楽しみました。最後には、両校代表生徒から「鬼まんじゅうは、とてもおいしかったです」「みんなといっしょにつくってよかったです」などの言葉が出され、よい時間を過ごせたことを、改めて共有することができました。



両校生徒の交流



鬼まんじゅうづくりで交流



十四山中学校産さつまいも



第8回再編委員会を11月21日(木)に開催しました。生徒間交流の様子を動画でご覧いただき、各部会の今後の計画について協議しました。委員からは、「大人数で合唱などができるよさがあり、再編のよさを感じる」といった意見をいただきました。4月のシン弥富中スタートと両校の子どもたちの幸せに向けて、最終段階となりました。